



なでしこ

『大宮中精神:優しさをもって、夢や目標に向かって、挑戦する若者であれ!』

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより
令和6年10月30日 第6号(19-80)
発行責任者:校長 関田 誠

10/7(月)朝礼校長講話

『挨拶は心の扉を開く鍵』の話

～生徒会、委員会活動を盛り上げていこう!～

先日、後期生徒会組織が発足して活動が始まりましたね。今年度から生徒朝会の内容が、各委員会の委員長が並んだ発表から、各回二つ程度の委員会に絞った発表に変更されました。これは少々マンネリ化した中身を、実のあるものにしようという前期生徒会本部からの提案による前向きな改善でした。前期の発表は、それまでと一味違う工夫された内容で、報告や訴えにもスライドや寸劇風な動きがあり、観ていてまったく飽きない仕掛けでした。私は保健委員会の脳貧血対策の発表が、とても印象に残っています。

そんな流れを受けて、先週の新生徒会本部の発表は素晴らしいものでした。テーマは『挨拶』でした。元々大宮中は訪問された方々に、いつも気持ちの良い挨拶ができるという嬉しい評価をいただいている学校でした。『でした』と敢えて過去形にしたのは、最近の大宮中生の挨拶のエネルギーが少々落ちているなど感じていたからです。例えば、朝の登校から生徒同士、先生と生徒の挨拶や授業の前後の挨拶を、明るく笑顔で交わしているか。廊下や玄関で来校された大人の方に出会ったときに、こちらから『こんにちは!』と笑顔で挨拶が出来ているか。家では家族の間ではどうだろうか。



そんなことを考えていたタイミングでの、先週の新生徒会本部の『挨拶』をテーマにした発表でした。スライドを使った挨拶の効用。実際に役員の二人が挨拶を交わす姿。小学校の校長先生から『挨拶は心と心をつなぐリボン』と言われていたことが、今になって腑に落ちたというエピソード。最後に全員で二回挨拶の練習をしましたね。とても良い響きの挨拶でした。その姿を見ていて、新たな生徒会本部役員のやる気と覚悟、全校生徒の協力精神を感じて、とても嬉しかった。先週から「朝の挨拶運動」も昇降口で行っています。今年度後半の大宮中では、今まで以上に明るい挨拶が飛び交うことを意識した学校にしていきましょう。一年生も大宮中の良き伝統を引き継いでほしいです。

今年出版された哲学者の鳥越覚生氏の『挨拶の哲学』(春風社)という本があります。その本では『挨拶とは他者に無関心でないこと、他者の苦しみのそばに立つと告げる祈り』と規定しています。少し格調高い表現ですが、平たく言うと『挨拶は他者に寄り添うために心の扉を開く鍵』です。必ずしも大きな声とか形にとられる必要はありませんが、挨拶はTPOを考えて声や目線、表情、動作で(あなたのことを気にかけています)という優しさを伝えることが大切です。『挨拶は心の扉を開く鍵』。皆さんはその鍵をもっていますから、どんどん使って鍵をピカピカに磨いてください。その鍵は皆さんの一生の財産になって、人生に彩を添えることを約束します。😊

授業ぶらっと訪問③④

10月8日(火) 滝川先生③④家庭科 3年AB組

6月某日、私は家庭科講師の滝川先生に「赤ちゃん触れ合い体験やりたのですが…」と相談を持ち掛けました。コロナ前から構想を温めていたのですが、チャンスに恵まれなかったのです。幸い滝川先生は家庭科の保育で経験があり、話はとんとん拍子で進み、堀ノ内南学童クラブの上田さん、本校元PTA会長の岡野陽子さんのご尽力もあり、あっという間に赤ちゃんが20組以上集まりました。

当日は生憎の雨でしたが、控室の被服室にママさんパパさんと、月齢12か月までの赤ちゃんが集合しました。体育館では三年生が、滝川先生の指導で赤ちゃん人形を使って、抱っこ仕方などを学びながら待機しているところに、ママさん、パパさんに



連れられた赤ちゃんとお対面しました。5か所のマットの上に、三年生と赤ちゃんとおママさん、

パパさんが車座になります。滝川先生とクラブの職員武田さんの説明を受けながら、『一本橋こちょこちょ』の歌やおもちゃ布を使って、赤ちゃんの反応を楽しみながら、触れ合いが始まりました。赤ちゃんに初めて触れる生徒も多く、最初は戸惑っていた生徒も、赤ちゃんのしぐさや笑顔に誘われて、座り抱っこや立ち抱っこをして触れ合いを楽しんでいました。途中、質問コーナーで赤ちゃんの扱いや子育ての楽しさと大変さを真剣に聴いていました。

生徒の感想は、「赤ちゃんが小さすぎて可愛かった」「赤ちゃんを育てるのは大変だけど、それ以上に成長する姿を見るのは嬉しいのだと分かった」「自分を育ててくれた親に感謝の気持ちが湧いた」

ママさん、パパさんの感想は「中学生が照れながらも赤ちゃんを抱っこしてくれて嬉しかった」「生徒さんが子どもにとっても優しく接してくれて、ほほえましく癒されました」「女子生徒が『絶対子どもが欲しい』と言ってきて嬉しかった」等のご意見を頂きました。三年生とご協力いただいたママさん、パパさん、赤ちゃんの双方に得られるものがありました。滝川先生は「これからも続けたい」とのことでした。



10月21日(月) ③G組保体 浅倉先生

今朝は急に冷え込みがきて涼しい気候です。一、二校時は文化発表会の合奏練習をやっていました。本番直前で気合が入っていました。本時は来週実施する連合行事、フレンドリースポーツ大会の種目の練習です。まず準備体操です。ビートルズのオブラディ・オブラダの曲に乗って手足を使って動きます。軽快な曲に乗って楽しそうに体をほぐしていました。



終わると、水筒で水分補給をしてから、体育館を周回走します。これも聞いたことのある曲(オレンジレンジのチャンピオーネ)に乗ってランニングです。自分のペースで5分間走っていました。指導している浅倉先生は、放課後はバスケット部顧問でもあります。脚力は健在でキビキビとした動作で、生徒と一緒に動いていました。終わったら一周歩いて給水という流れです。この辺りはいつものルーティンのようです。G組は学年や体格で体力差が大きく、疲れた生徒にはきめ細かい配慮をしながら授業が進みます。



今日のメインメニューは、『台風の目』という競技の練習をやりまます。カラーコーンの後ろに四人ずつ並んで、浅倉先生がチームごとに選手を並べて順番を確認します。準備ができ

て走り始めます。竹を二~四人で持って走って行って、先のコーンを回って帰ってきます。回転する時に、内側の人が止まって支点になります。素早く回ろうとすればするほど、外側の人は遠心力で振られて大変です。おそらく外側に体力があって足が速い人を置くのが必勝法ではないでしょうか。たくさん練習して怪我無く終わることができました。今年度のスポーツ大会は陸上競技場が改修工事のため、大宮中で実施することになっています。G組の保護者の方がたくさん応援にいらしていただけると嬉しいです。

修学旅行 (第三学年)

9

23~25

今年も厳しい残暑を覚悟していたのですが、望外の涼しい三日間でした。当日朝は7時45分に東京駅地下修学旅行広場に全員集合(二名サッカーの試合で夜合流)して、開校式をおこない出発です。生徒はこれからの旅行への期待で目が輝いています。一日目は新大阪まで新幹線、そこからバスで神戸市に入りました。阪神淡路大震災の記憶を伝える施設『防災未来センター』で、一年生の時から積み重ねてきた防災学習のまとめとして、見学と体験学習の時間を過ごしました。夜は神戸港から明石大橋までのディナークルーズ船に乗って、ひと時の船旅を満喫しました。食後にデッキで夜風に当たりながら、合唱をしている姿もありました。二日目の朝は、ホ



テルのディナービュッフェを満喫してから、バス移動で奈良に入りました。この日も比較的涼しい一日で、生徒は元気一杯です。法隆寺からバスで昼食場所に移動して食事をしてから、徒歩で東大寺大仏殿、奈良公園で鹿と触れ合いを楽しんでいました。その後近鉄で班行動で京都に移動しました。京都市内の寺社スポットをバスや電車を使って巡り、18時までに京都駅前のホテルに戻る予定でした。清水寺を筆頭に外国人観光客と修学旅行生で溢れかえった市内



は、動くのがやっとの場所もあり、バスに乗るのも一苦労で多くの班の到着が遅れることになりました。夜は食事後に、全員で京都駅中のお土産コーナーで、予算に頭をひねりながら、家族への買い物にいそしていました。

三日目の最終日も好天に恵まれる中、班ごとにタクシーに分乗して、効率的に寺社スポットを巡り、途中でのランチは選びに選んだこだわりの店、うどんやお好み焼き、おばんざいを食べたようです。13時頃に全員京都駅前に再集合しました。三日間の疲

れも何のその、帰りの新幹線では様々な遊びに興ずる者あり、シートで丸くなって熟睡する者あり。最後の余韻を楽しんでいました。途中雨が降り始めて、東京駅に着いた時は本降りでした。閉校式後に解散しましたが、教科書では到底学べない古都の空気を感じながら、日本の歴史、文化とのめぐり逢いがありました。三日間の修学旅行で、大宮中3年生は様々な体験を通して、確実に仲間との絆を深め、見聞を広げることができたようです。10月からの成長した姿が今から楽しみです。文化発表会(合唱コンクール)、進路選択から卒業式まで、細川学年への変わらぬ応援をよろしくお願いします。

職場体験学習 (第2学年)

9

24~26

地域の各事業所のご協力のもと、三日間の職場体験を行いました。今年度は受け入れ先を増やして、2~4名で訪問しました。生徒にとって大変充実した社会勉強の時間になりました。受入先の事業所の皆様、大変ありがとうございました。

【受入先】高井戸警察 杉並消防署 永福図書館 大宮八幡宮 堀之内子供園 大宮ふれあいの家 こすもす生活園 ケアサービスデイサービス方南店 レクサス浜田山 サミット(妙法寺、和泉) スーパーフリー中野南台店 アキッコデシカ方南町店 けやき亭 川名肉店 カフェ missponne おうち保育園 井の頭公園 井の頭自然文化園(動物園) TAC 杉並区永福体育館 栄和運輸 郷土博物館 方南図書館 高千穂大学図書館 アイネット杉並工場 堀之内保育園 くまの保育園 大宮保育園 アテック(児童館) 島忠ホームズ(中野本店) スシロー(方南町店) 不二家 モスバーガー(永福町店) すき屋(永福町駅前店) 区役所(文化交流課) 大宮中主事室 (敬称略)



by 奈菜子

スローガン: 「一蓮托唱」
～ 思いを歌に託して～



今年度の文化発表会は、コロナ禍の影響から解放されて、順調に練習を重ねてセッション杉並で開

催しました。当日は保護者一学年85名、二学年72名、三学年49名、来賓、一般12名のご参観をいただきました。ありがとうございました。

本番二週間前からは、放課後練習が始まりました。20分×2回の40分間の練習では、最初は指揮者の動きもぎこちなく、歌う側も楽譜を見ながら、指揮者に目が行きません。しかし毎日のパート練習や合唱の合わせの後、実行委員や指揮者、伴奏者から積極的に意見が出てきて、磨きがかかっていくことで、終盤では例年よりも声がよく出ており、本番に期待が大きく膨らみました。

当日は朝から生徒は大宮中に集合して、最後の練習をしていました。回してみると、二、三年生は表情が硬く緊張しているのが分かりました。開会式の校長挨拶では、「やっぱりステージは歌いたくなるね～」と叫び、麻田PTA会長と神戸先生



と三人でジャンポリミッキーを替え歌でワンフリーズ歌って踊りました。生徒の緊張感がほぐれ

る役に立ったかもしれません(ダンサーズに感謝)。

定刻で開会し、G組の歌と器楽演奏がオープニングで、良い表情で大きな声で歌いパーカッションのテンポを揃えて楽器を奏でました。



一年生の合唱はA,B,C組の順番で、練習期間に驚異的に上達していて、どの学級も甲乙つけがたい出来栄でした。二年生は、B,Aの順番で、どちらも声量がありハリのある歌声が響きました。



課題曲『時を越えて』の学年合唱がとてもきれいでした。歌詞が良く聞き取れて伝わってきました。



三年生の合唱は、学年合唱の『あなたへ』が聴衆の心に響きました。「いろんなことがあって自分を嫌いになった…荒んだ心に突き刺さったのは…」に、私は思わず涙ぐんでしまいました。自由曲A組『YELL』、B組『手紙』も大人っぽい声で、聴いていて引き込まれて聴衆を魅了していました。



その後、PTA教職員コーラスのパフォーマンスで会場が盛り上がります。軽音楽部のバンド演奏に拍手や手拍子で沸いたところで昼食休憩でした。

午後は、一転して学習発表会でした。広島平和の旅の報告会では、核兵器の恐ろしさと、平和な世界を願う気持ちの大切さが伝わってきました。各学年の学習発表では、国際理解(1年)、職場体験(2年)、防災学習(3年)、G組カフェの取組の発表がありました。それぞれが工夫を凝らした発表で、聴いていて唸ったり関心させられました。



最後にサイエンス部の発表があり、白衣を着て舞台上で実演したりスライドでクイズを出したり楽しませてくれました。締めめの全校合唱『旅立ちの時』の合唱が最高に素晴らしく、ホール全体に歌声が響き渡り、一日の余韻が残りました。

学校行事を通して、生徒の成長を確かめられた貴重な時間となりました。ご鑑賞いただいた保護者の皆様から、大宮中の良さが伝わり拡がって、来年度も来場者がますます増えて、加えて新入生がたくさん入学してくれると大変うれしいです。

- ☆熱演賞: G組『絆』
- ☆最優秀賞: 3年B組『手紙』
- ☆優秀賞: 3年A組『YELL』
- ☆優良賞: 2年A組『地球賛歌』
- ☆ポスターコンクール最優秀賞: 3年A組
- ☆ポスターコンクール優秀賞: 3年B組